

第50年度
スローガン

伝統を創造しよう



ご卒業おめでとうございます。

ご卒業される4名の講師の皆さんに、入会からご卒業までの思い出を軸にOJBでの研修の意義・仲間の大切さなどご講演いただきました。



第50年度 ゆかた例会

平成28年8月9日 十八楼にて

演題「OJBをふりかえって」

参加者49名

講師： 寺倉 毅 会員（第26年度入会） 羽田 義慎人 会員（第27年度入会）
渡部 弘幸 会員（第29年度入会） 土屋 光晴 会員（第34年度入会）

※ご都合によりご欠席された諸田 芳和会員（第37年度入会）よりお預かりしたメッセージは寸田幹事長より代読させていただきました。



「先輩方有難うございました！」

高橋 卓哉

「ご卒業おめでとうございます！」とお酌をしに行くと、「おめでたくないよ。寂しいよ。」と返事が返ってきました。今回ご卒業された先輩たちは、皆さんOJBをこよなく愛し、会の発展に大きな功績を残された方ばかりなので尚更かと思えます。講演の中でも、皆さん会や会員からどんな影響を受けたのか、どういう心持ちで会に臨んでみえたのか、我々後輩に伝えようとして一生懸命お話いただきましたが、到底あの短い時間では語りつくせなかったかと思えます。

我々後輩たちは、50年間の歴史と先輩たちの想いや努力のおかげで研修する機会をいただいているので、そのことを忘れず、まさに北野会長のかかげた50年度のスローガンである伝統を創造しつづける必要があるのではないのでしょうか？ご卒業されましたがこれからも引き続き我々後進にご指導お願いいたします。

有難うございました！

また50年度役員の皆様も大きな節目の年での大役大変お疲れ様でした！



「色々な思いがつのるOJBは半世紀」

小林 諒士

まずはご卒業おめでとうございます。そしてお疲れさまでした。

今回卒業される皆様の話拝聴して自分が感じた事は、今年でOJB創立50周年であり卒業する時は50歳という決まりがあります。

生まれた時にOJBがスタートして、OJB自体も50歳と言うすごいタイミングだなと思いました。

卒業された皆様も今まで先輩から色々学び見送り、先輩から学んだ事を後輩に伝えていく。これがOJBの素晴らしいところだとも思いました。卒業された先輩の中には、まだつい入会したのが最近のように思えるあつと言う間だったと言われました。

OJBがあったからこそ出来た事学んだこと、人と繋がっていくと言う事。役員等をして自分のスキルアップの為には苦勞があったと思います。時代とともに変化していくOJBはとっても凄いと感じました。

卒業されて行く先輩一人一人の思いや感じ方は違うにしても、OJBに入会して良かったんだと言う気持ちが非常に伝わってきました。いろんな事にチャレンジしてくださいと言われました。

自分自身の話になりますが私はOJB卒業まで20年あります。

卒業された先輩一人一人自分の色があるように自分もこれから先輩方に色々指導して頂き自分自身の色を出せるようにして仕事にも繋げていけたらと思いました。

卒業される先輩方には大変お世話になりました。自分も先輩方に一歩でも近づけるように頑張りたいとおもいます。

特別会員認証状授与式



北野会長よりご卒業される皆さんへ特別会員認証状が授与されました。



○寺倉 毅会員
○渡部 弘幸会員



○羽田 義慎人会員
○土屋 光晴会員

ゆかた例会懇親会

講演終了後、ご卒業される皆さんと会員が思い出話に花を咲かせました。日頃の研修の場とは違い、浴衣姿で和んだ雰囲気での交流ができていました。

欠席された諸田 芳和会員へは後日特別会員認証状が手渡されました。



次年度への引き継ぎ



第50年度北野会長から第51年度大橋会長へ会旗の引き継ぎ



第51年度大橋会長から熱い想いを語っていただきました。



第50年度会長としての最後の挨拶をされる北野会長



松本歴代会長による乾杯で懇親会が始まりました。



中締め音頭は浅野歴代会長にいただきました。

大橋親睦委員長から第51年度大橋会長へ男気溢れるエール





第50年度最後の進行は松田広報幹事



長屋歴代会長の乾杯で二次会がはじまりました。



平野歴代会長に
締めめの挨拶をいただきました。



渡部会員 寺倉会員 土屋会員 羽田会員 お疲れさまでした。

第50年度役員の皆様から、 一年間を振り返ってご感想をいただきました。

※創立50周年記念事業実行委員の皆様のご感想文は紙面の都合により第2号に掲載させていただきます。

「感謝」

会長 北野 英樹

この1年、創立50周年記念事業、第50年度の事業と多くの事業を行いました。
役員、実行委員を始め、会員の皆様には多大なるご協力をいただき、感謝申し上げます。
会長に就任する際、「研修」とは何か、会員や役員のためになる活動とはどういうものか、この会はどうなるべきか、など改めてじっくり考えました。
それを形にしようと、スローガンを考え、役員会を組織しました。
1年を振り返って一番うれしかったことは、寸田幹事長を中心にその思いを皆が理解をし、事業に落とし込んでくれたこと。
決して仲良しグループではない個性あふれる集団が、一つの目標に向かって力を結集できたこと。
この活動を通じて私自身、役員並びに会員の皆様から多くの事を学ばせていただきました。
そして何よりこの大変な1年を楽しく過ごすことが出来た事、心より感謝いたします。ありがとうございました。

第50年度役員の皆様から、一年間を振り返ってご感想をいただきました。

「第50年度を振り返って」

副会長 大橋誠治

50周年という大切な節目に同じ時間を共有させていただき有難うございました。

通常年度ではない特別な企画・行事・催し物全てが新鮮で格別でした。

私にとって大変貴重な研鑽が出来た年度でした。常に北野会長の背中をみながら年間通して勉強させていただきました。都度、自身の非才さを感じながらそれでも前だけを見据えるような状況の連続でした。振り返ると有り難い経験・体験の出来た年度であり人生の糧にしたいと思います。

また、ご一緒させていただいた年度役員の皆様や実行委員会の関係委員の全ての方お一人お一人が素晴らしい方であり、共に活動させていただいて色々な苦しい辛い場面もあったかと思いますが、振り返れば有り難い年度でした。感謝申し上げます。このようなことを体感できる当会は本当に素晴らしい団体であり良さであると思います。

更に申し上げるとするならば、来年度は会長を拝命し身が引き締まり、プレッシャーも

増幅しているしだいです。言うまでも無くOJBという大木の年輪はさらに太くなります。地域の皆様や諸先輩に継続してご指導・ご鞭撻・ご支援を賜りながら、会員が成長できるあるいは成長させられる会の継続が本当に大事であると思うしだいです。全ての会員に感謝申し上げますと共に本当にお疲れ様でした。有難うございました。

「大人になってわかったこと」

直前会長 吉田大助

長いようで短い三年間が終わろうとしています。まずは第50年度に感謝申し上げます。

そして、この三年間に深く関わらせてもらった幸運に。

OJBを通じて、それはそれは大きく大切な経験をさせていただきました。

「大人になること」=「社会の中に生き、自己の人生に対する責務を果たしていくこと」

と定義したとすると、この三年間はそのことに向合えたのではと思います。

そこで今、年齢的にも「大人になってわかったこと」の一部をこの機会に記しておきたいと思います。

●理念はとても大切だ ●キャッシュフローは重要だ ●経営者は孤独だがOJBは経営者にあたたかい ●困った時が学ぶときだ ●般若心経は呪文だ

●うまくやるより真面目にやることだ ●女性はイイ匂いがする ●「言うは易く行うは難し」はその通りだ ●会長は苦しい ●会長は楽しい

●人知れず尽力されている多くの方がいる ●創造には想像が必要だ ●信頼できる人のいる幸せ ●すべてが研修だ ●OJBは良い会だ

そして、●大人になってもわからないことが結構あるということ。 ●これでいいのだ！

ありがとうございました。あ、そうそう。宇宙の法則はあると思いますよ、羽田先輩！

「第50年度を振り返って」

監査役 山口猛

北野会長をはじめ執行部・役員の皆様、一年間お疲れ様でした。

また、第50年度のすべての活動においてご理解ご協力いただいた全会員の皆様には感謝いたします。ありがとうございました。

第50年度監査役という立場で、執行部の一員でありながら通常の役員とは少し違う立ち位置で一年間勉強させていただきました。

役員に選んでいただいた北野会長には感謝です。

今年度は周年事業もあり役員一人一人がリーダーとなり北野会長を支え素晴らしい活動及び勉強が出来たと思っております。

そういった意味でも第50年度は会員の皆さんの記憶に残る年度になったのではと、思います。

第51年度は大橋会長より幹事長を仰せつかり第50年度以上に勉強していきたいと思っておりますので御指導、御協力の程よろしくお願いいたします。

「なんとかなる」

幹事長 寸田敬介

もうずいぶん前になりますが、北野会長から「寸田君ならなんとかなるよ！」とお声をいただき、

第50年度という大きな節目で幹事長という大役を務めることになりました。

何度も躓き、悩みながら無事9月例会を迎えることができ、以後フラフラしながら取り敢えず前に進んでいるといつの間にか執行部、

役員の皆様が幹事長である私を支えてくれていることに気づきました。たぶん相当フラフラしていたのでしょう（笑）

この大役を自分一人の力で乗り切ることなんて不可能だと認識した瞬間に、ちゃんと前を向いて歩けるようになりました。

北野会長の「なんとかなるよ」の一言は、たんなる会長の口癖なのだとか聞いた時にはもう年度の終盤でした。だまされたと感じるより、今は魔法の言葉のように感じます。なんとかなったでしょ！？

頼りない幹事長を支え続けてくれた執行部、役員の皆様、守護神のように常に温かく見守って下さった渡部相談役、年度を通してご協力くださった会員の皆さん、

特別会員の皆さん、我慢強くいつも家から送り出してくれた家族に心の底から感謝しております。

一年間本当にありがとうございました。最後に、素晴らしい研修を与えてくださった北野会長、本当にありがとうございました！！

「第50年度を振り返って」

例会幹事 上野和幸

50年度を振り返るにあたり、まず初心を思い出そうと概況資料をめくってみる。北野会長の顔写真の髪型に、思わず手に持っていたエスプレッソコーヒーを落としそうになる。ではではと、会長のお父上であられる北野茂樹特別会員の写真を見て、いつの写真やねん！と突っ込みを入れてしまう。

そして、そう、これこそが今年のスローガンの意味なのだ、と一人勝手に合点する。劇的と思える変化であっても、慣れてしまえばそれが標準になり、違和感を感じなくなる。

その積み重ねが伝統であり、劇的な変化を繰り返し創造しながら標準にしていく、その様な営みが出来なければ時代に淘汰されてしまい、伝統を紡いではいけない。

その思いを会長は自らの髪型で表現されたのだと思うと、やはり50年度の会長になるべき方だったのだと感じ入ってしまう。

そんな北野会長の下で一年間役員をさせて頂けた事は、僕の人生のかけがいのない財産になると思う。いや、本当に思っている。心の底から思っている。思うのは勝手である。

…という様な感想文を書く、面倒くさい僕と根気強く付き合ってくれた今期の役員の皆様、特に寸田幹事長、川瀬会員委員長、稲尾会員副委員長にはありがとうしかありません。

イヤだと思いますが、またいつか何かの機会でご一緒できたら嬉しく思います！

第50年度役員の皆様から、一年間を振り返ってご感想をいただきました。

「1年間ありがとうございました。」

広報幹事 松田 俊治

もともと管理職に向いてない性格の私に2つの委員会の担当幹事など到底務まるものではありません。大橋委員長や小川委員長に怒られながら、一年間過ごしておりました。大橋親睦委員長は男気のある兄貴肌で、難しい行事をほかの役員を巻き込みながらどんどん前に進めていきます。小川広報委員長は常に冷静で用意周到な性格で、OJBひろばの校正やメール配信などとにかく間違いの無いように進めていかれました。その中で、おんぶにだっこで過ごさせていただいておりましたので、思い出もあまりありませんが、優秀な委員長に支えられて幸せな一年間でした。他にも西野研修委員長はとにかく段取りが早く、仕事が早い。自分の仕事を早く終わらせて時間を作って、ほかの委員会行事に相談にのりすべての行事が円滑に進むように調整されていました。川瀬会員委員長は負けん気の強い性格と面倒見の良さの両面を持っており、下の稲尾副委員長さんをよく面倒を見ながら、勧誘活動から新入会員の親睦まで幅広く活動されておりました。奥田長期計画委員長はOJBオープンをはほぼ一人で大成功させたといっても過言ではありません。特別会員から来賓まで幅広く奥田委員長の顔を覚えてもらえたのではないのでしょうか。ともかく私のやることは全くありませんでした。一年間ありがとうございました。

「1年間ありがとうございました。」

会計 河合 敏直

1年間ありがとうございました。50年度という節目に会計という大役を仰せつかり身に余る光栄と思うとともに責務の重大さに身を引き締める覚悟で臨みました。いろいろと感じたことや気づいたことはありましたが改めて会計業務の難しさや重大さを痛感しました。これから会計をやられる方へ少しでも負担を軽くするためにマニュアル化をしようかと思えます。会計の知識が疎い方がやるのが一番研修になるのだと思いますが、皆様から頂いた会費を管理することに関して言えば本当はある程度精通した方がやるべき職だと思いました。途中、執行部として参加できない時期が多々ありましたが、本当にいい研修ができた1年になりました。北野会長・寸田幹事長のもと一緒に役員ができたことをうれしくおもいます。会長・幹事長本当に1年ありがとうございました。

「協力者に感謝」

会員委員会 委員長 川瀬 竜也

会員委員会の役割を通じて私は、自分の最も足りない部分「コミュニケーション能力」を向上させるにとってもいい研修をさせていただきました。「相手の話を聞き、自分の話を聞いてもらう」この普段なにげなくしてきた行為を、今までさほど深く考えてこなかった私にとって、この研修はとてつらく、厳しいものになりました。電話ひとつするのにも相手のタイミングを図ったり、話す内容も事前にメモしておいて話したり、時には私からではなく、人に代わって話してもらったり……。この一年の研修で私自身にどれほどの成果があったかは分かりませんが、この研修にはたくさんの協力者が必要であったということを今更ながら痛感し、それに伴ってそれを快く引き受けて下さった、たくさんの方々に深く感謝しております。この様な貴重な研修の機会を与えて下さった北野会長はじめ、役員の皆様、誠にありがとうございました。

「第50年度 役員を終えて」

会員委員会 副委員長 稲尾 大介

今年度、会員副委員長を務めさせていただき色々なことを研修させていただきました。この一年を振り返ってみると、川瀬竜也委員長に助けていただく事ばかりでした。資料作成のチェックでは、同じ失敗を何度も繰り返している私に気長に付き合ってください感謝の気持ちしか有りません。本当に、ありがとうございました。また、初役員として参加させていただいた会の活動は勉強になる事ばかりでした。一つの行事を行うために、打合せを何度も行い本番に向け準備する大変さや本番が終わってから反省点を出し合い次に繋げていく姿勢など、一会員で居る時には考えもしなかった事です。役員を務めてみて、一会員でいる時にでも出来る限り会の活動に参加しようと思うようになりました。これも、役員を務めたから思う事だとも思います。大変な事も多かったですが、楽しい事も多かった役員でした。北野会長始め役員の皆様と同じ時間を共有出来た事は、私にとって貴重な研修となりました。一年間ありがとうございました。

「第50年度 役員を終えて」

広報委員会 委員長 小川 智宏

第50年度の役員を務めさせていただき誠にありがとうございました。諸事情により役員活動がままならない私を引っ張ってくれた北野会長・寸田幹事長・松田幹事、そして圧倒的な実力でカバーしてくれた清水副委員長には大変助けられた1年でした。誠に感謝いたします。今季で3回目の役員を経験させていただきましたが周年と絡む年度役員は初めてでした。周年と年度が合同で役員会を開催するという新たな試みから、いつも以上に勉強をさせていただけた年だったと感じております。最後になりましたが、感想文・プレスリリース・撮影にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

「第50年度の役員を終えて」

広報委員会 副委員長 清水 琢磨

北野会長をはじめ、執行部、役員、会員の皆様には一年間を通して、多大なご指導並びにご協力を賜りまして本当にありがとうございます。また、50周年という節目に役員をやらせていただき、周年事業の役員含め、多くの方とのお縁をいただけた事も大変感謝しております。自身としては、思考、段取り、配慮など、各位との連携が多く求められる中で、どの考え方を選び、判断して行くのか、シンプルなようで、難しい選択の毎日だった気がします。そして、程よい緊張感もとても良い経験になりました。仕事では、事前に準備しシミュレーションも頭の中で行いますが、OJBでは敢えて、準備せず瞬発力で話す事をしたので、些か歯切れの悪い言葉でお話した機会が多かった気がしておりますが、自分なりの研修をさせていただきました。自身の研修とは何かを7月例会にて「考える事」だと気づかせていただけた事は大きな収穫となりましたし、多くの同世代の方々にも大変刺激を受けました。何か接すれば、何か感じる事ができるように役員としての立場で得たモノを今後に活かして行ければと考えております。皆様、一年間ありがとうございました。

第50年度役員の皆様から、一年間を振り返ってご感想をいただきました。

「第50年度を振り返って」

親睦委員会 委員長 大橋博己

久しぶりの役員にもかかわらず、50年度の節目の年に、50周年記念講演副委員長・50年度親睦委員長と、二足のわらじのスタートで、思い通りに行かず、空回りする事もしばしばありましたが、会長はじめ、会員の皆様、そして役員の間面に支えられて、全ての行事を無事に大成功にて終える事が出来ありがとうございました。松下副委員長には、わがままな委員長を支え、一年間ついてきてくれてありがとうございます！

そして皆様方には、感謝 感謝 感謝です。
素晴らしい一年間をありがとうございました。

「一年を振り返って」

親睦委員会 副委員長 松下元嘉

50年度初めて役員を務めさせていただき、今までの人生で一番パソコンを使いました。ドライアイの意味が少しわかりました。親睦委員会は行事が多く毎月のように資料や打ち合わせがあり、正直ついて行くのが精一杯でした。改めて時間の使い方、つくり方の大切さを学ばせていただきました。また、運営をしていく上で段取り、根回し、コミュニケーションの重要性、何より沢山の人が成り立っていることを実感しました。

この1年で学んだことを来期に、そして、5年後10年後に繋げていきたいと思います。
会長をはじめ、執行部、委員長、役員の方々、本当にお世話になりました。すばらしいメンバーに恵まれ、新しいご縁をいただき感謝です。ありがとうございました。

「役員からの学び」

研修委員会 委員長 西野 英乙

先の46年度役員を務めさせて頂いた際、当時会長の松本歴代から北野君の時は頼むよとお声をかけて頂いてからのあつという間の今回の大役の運びとなりました。

以前、会の先輩から役員をやる事が一番の研修になるんだと伺っていましたが、研修委員を務め、実に多くの事を経験し学ばせて頂く事が出来ました。

会長の想いを形にする為、担当幹事、副委員長と1年間の計画を立て実行する。

その中で委員さんと共に活動する事に重点を置き、皆様からの協力も頂き無事に乗り切ることが出来ました。

また、他の委員会と連携を取る事に大きな学びを頂きました。

他所の委員会活動をお手伝いする事で、経営者として多くの観点から物事を見る事の重要性や、1つの出来事を進める際のチームワークの作り方など、

本当に多くの事を研修させて頂きました。

今年度のメンバーと役員を務めさせて頂いた事に深く感謝し、これからも研修の日々を送る事を心新たに致しました。

「第50年度を振り返って」

研修委員会 副委員長 渡邊 雅大

入会して2年目にして、研修副委員長というお役目をいただき、今年一年様々な経験をする事ができました。当初は、右も左もわからず、先輩会員の動きを目で追う日々でした。その中でよく耳にしたのが「段取り八分」。この言葉の意味はすぐに体感する事ができました。

研修委員会や記念講演、担当例会など大小問わず各事業での段取りの重要性を痛感したのは言うまでもありません。

すべての事業で「計画」「実行」「検証」を繰り返すことで良いところ悪いところを再確認し、今後の事業へつなげていく。

この一年間、「段取り八分」「計画」「実行」「検証」・・・研修することは山ほどありました。すべてを吸収し、仕事に活かす。

まだまだうまくはいきませんが、会を通してさらに研修させていただければと思っております。

最後に、貴重な研修をさせていただいた北野会長、支えていただいた役員の皆様、本当に感謝しております。一年間本当にありがとうございました。

「第50年度役員を振り返って」

長期計画委員会 委員長 奥田 祐太郎

まずは一年間役員として、活動をご一緒してくださった役員の皆様にご挨拶いたします。

そして長期計画委員長として選任していただいた北野会長には感謝するとともに、第50年度という会にとって節目の重要な年度に会長として一年過ごされたこと、お疲れ様でした。

年度の当初より北野会長からは委員さんを巻き込んだ活動、そして委員会の横の繋がりやコラボ企画等、

この言わば会全体が一致団結できるような委員会活動の方向性を示していただき、

OJBオープンという形で具現化できたことは、自身の研修になったことはもちろんですが、この会の素晴らしさを実感できました。

一年間、役員の皆様、会員の皆様のご協力で第50年度長期計画委員会活動を終えることができましたことを感謝申し上げます。ありがとうございました。

「第50年度を振り返って」

長期計画委員会 副委員長 中島 繁樹

第50年度、この大垣青年重役会が50周年という節目を迎える年に、私は長期計画委員会の副委員長を務めさせていただきました。

寸田幹事長、奥田委員長のもと、今までの役員では経験したことのない行事に携わらせていただきました。

何といっても一番の経験をさせていただいたのは、OJBオープンゴルフコンペでした。過去に例のない行事でしたので、何が正解かわからないまま暗中模索の連続でした。

そんな中、奥田委員長を中心に、北野会長をはじめ年度の役員、そして周年の役員、特別会員を含む会員の皆様のお力をお借りしながら

少しずつ1つの目標に向かい前進していけました。そして当日には、会員が一つにまとまりゲストの皆様にも楽しんでいただけた素晴らしい行事にすることが出来ました。

ご参加、ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

奥田委員長、お疲れ様でした。他の行事も大変でしたね。また、委員長のもとで良い研修をさせていただきました。ありがとうございました。

そして北野会長、今年度役員をさせていただきありがとうございました。

新年度へ向けてインタビューさせていただきました。

聞き手：広報委員長 大平晃嗣
書き手：広報副委員長 奥村浩年

大橋誠治会長 プロフィール

第31年度入会
株式会社養老技術センター / 代表取締役社長

・プレス金型設計製作及び各種部品加工 ・ドリームエコチェンの製造販売

家族構成： 妻・子（一男・一女） 趣味： 読書・映画鑑賞・スポーツ観戦

Q1.いよいよ第51年度がはじまります。今の心境をお聞かせ下さい。

A1 昨年度、50周年という大きな節目を終え、法人格を取得して5年目となります。これらは、各界の方々の温かいご指導やご支援や諸先輩、会員の多大なご協力の賜物であります。この伝統や歴史を振り返りますと第51年度の会長として責務の重さに身が引き締まる思いです。会員皆様の期待にお応えできるよう誠心誠意努めていきたいと思っております。また、素晴らしい執行部や役員ともご一緒させていただき感謝するしだいでありたいと思っております。

座右の銘 「実践躬行」「雅量」

実践躬行：身をもってまず実際に行動し、理論や信条を自ら進んで行為に表すこと。
雅量：おおらかで、人をよく受け入れる性質や心、度量が大きいこと

Q2.第51年度のスローガン「自己進化を実践しよう」に込めた想いを聞かせていただけますか。

A2 日本経済は転換変動期ともいえるシュリンク時代に入りました。市場規模の縮小、少子高齢化、人口減少の現実、各種の偽装問題、生産労働人口減、安心安全神話の崩壊等、さらには人工知能が人間能力を凌駕し始め第4次産業革命(2020~2030年)の幕開けも予測されています。2045年には現在の職業の半分近くが消滅するとも言われています。このような時代の変動に柔軟に適応する為の戦略や戦術の実践あるいは相応の強化準備が経営者に今、求められているのではないのでしょうか。常に現代社会や地域について学び、経営者としての人格を高め、地域貢献していくことが使命であることを再認識し、さらに時代適応力の強化で自己(自社や自分自身)の進化につなげていかなくてはならないと思っております。このような思いの元、会員の皆様に少しでもお役に立てる、実践や進化につながる研修活動をしていきたいと考えています。勿論、申し上げるまでもなく未来への提言を基本に考えています。

Q3.今年度、会長自身が「進化」「実践」したいとお考えの事を教えてください。(OJB以外の事でも結構です)

A3 A2でも申し上げましたが、これから仕事そのものが、あるいは環境が劇的に変化することも想定してはなりません。いかに事業展開するのか、人材はどのように継続確保するのか、課題は沢山累積していくと考えます。したがって、己自身がまずその認識力を高め、実践躬行で取り組んでいきたいと思っております。また、会長としての年度意識の元、会員の皆様にもそのような投げかけを、年度の行事や活動を通じて実践していきたいと思っております。私個人的なことを申し上げます、会長といえども一会員であることも忘れず、執行部・役員を中心に会員の皆様に尊重して、合議的・協調的に進める意識を高めて諸事の実践をと考えています。勿論、同時に諸活動についてのリーダーシップも実践していきたいと思っております。このような実践の繰り返しで自己進化に繋げていきたいと思っております。

Q4.今年度の例会や委員会活動で注目して欲しいところはありますか。

A4 先にも申し上げましたが、各自の実践・進化につながる研修や諸活動を予定しています。今年度の執行部・役員の方々のテーマとして「段取り九分」を提唱しています。それぞれの執行部・役員にもご期待ください。例会においては9月~1月のOJBスクールまでは講師を決定いたしました。いずれの講師もジャンルは別々ですが、時代背景と実践・進化を考慮した講演になると思っております。委員会は例えば、今回「実践研修委員会」とさせていただきますが、従来の19時から開会ではなく、17時~18時開会とし1回の委員会で3時間研修(途中休憩)を予定しています。従来の研修委員会の会費より多少会費をいただきますが、より中身の濃い実践研修活動を予定しています。また、どうしても時代背景もあり、このままですと会員減少傾向も避けることができません。実は今年度の運営は予算的に厳しく、今後の諸活動への影響等も懸念されています。今年度の会員委員会は従来の活動に加えて、あらゆる媒体(SNS含む)を活用してOJBを認識していただく機会を増やします。大垣界限には7000の事業所があるとされています。当会に興味をもっていたら若手経営者や管理者に積極的にPRするためです。そのような背景も考慮する中で広報委員会も従来よりも1名増員しております。長期計画委員会では前年度の資料を活用して、伝統として変えていけない部分、そして今後変えていかなくてはならない部分等を再考します。一般社団法人として他団体との交流機会の創出も実施していきたいと考えています。親睦委員会はあらゆる行事との絡みがありますが、より会員同士の関わり合いを重視します。二次会等の趣向も現在検討中でありたいと思っております。ご期待ください。

Q5.最後に会員の皆様に向けて、メッセージをお願いします。

A5 以上のご説明をさせていただいた指針の元、「自己進化を実践しよう」~伝統に感謝し本質をふまえて時代適応力を強化~というスローガンにさせていただきます。どうか自己研鑽しながら自己進化ができるような年度の活動をさせていただきますので、会員の皆様におかれましてはこの1年の活動にあたりご理解いただき、多大なご協力やご支援を宜しくお願い申し上げます。補足ですが、年度カラーはシルバーとさせていただきます。重ねて宜しくお願い申し上げます。





大変多くの会員・奥様・お子様の参加で
大いに盛り上がる運動会になりました。



お子様と一緒に
北野会長挨拶。



ラジオ体操は
笑顔で気持ちよく

新入会員説明会

平成 28 年 7 月 28 日 bistro&cafe 徒然 にて

参加人数 会員：14 名 新入会員候補者：5 名



○第 50 年度・第 51 年度 執行部・会員委員会メンバーより
新入会員候補者の皆様に OJB について
ご説明させていただきました。

○新入会員候補者
・説田裕高さん・西松恭伸さん ・不破 環さん
・堀 隆男さん・堀 佳一さん

今月のドネーション

平成 28 年 8 月

○長期計画委員会	OJB オープンをはじめ 50 年度長期計画委員会の活動にご協力いただきましてありがとうございました。
○平野宏司 会員 松本正平 会員 高橋卓哉 会員	50 周年記念事業無事終了しました。ご協力ありがとうございました。
○広報委員会	皆様のおかげで一年間無事終わることが出来ました。ありがとうございました。
○研修委員会	一年間で協力ありがとうございました。皆様のご協力もあり良い研修ができました。
○親睦委員会・会員委員	家族親睦会 70 名を越える大人数で大成功ありがとうございました。
○会員委員会	一年間ありがとうございました。
○親睦委員会	一年間ありがとうございました。
○吉田大助 会員	一年間ありがとうございました。
○小川智宏 会員	長女が中体連にて大垣西濃大会総合優勝、団体で東海大会に出場出来ました。
○上野和幸 会員	大垣商店街第 4 回まちゼミ。9/10~10/31 まで開催します！ 商店街それぞれのお店が専門店ならではの知識やコツをお教えします。 重役会では北野会長、松本歴代、河合敏直会員のお店もまちゼミを開催します。是非受講してみてください。
○西川可一 会員	納涼レストラン大成功しました。来年は日本酒も出るそうです！！
○渡部弘幸 会員 寺倉毅 会員 羽田義慎人 会員 土屋光晴 会員	お世話になりました。ありがとうございました。
○北野英樹 会員	一年間、会の運営にご協力賜り、ありがとうございました。

皆様へのお知らせ

○ 広報委員会より：

- 第 51 年度（9 月 1 日）より大垣青年重役会ホームページがリニューアルされます。
リニューアルに伴いホームページアドレスが変更になりますので、ブックマーク等変更宜しく願いいたします。
現在の HP アドレス <http://www.ojb.jp> ⇒ 変更後の HP アドレス <http://www.ojb1966.com>

● 今月より第 51 年度広報委員会にて「ひろば」の制作を開始致しました。

皆様に興味を持って読んでいただける紙面づくりに励んで参りたいと思っております。
皆様のご支援・ご協力の程、何卒、宜しくお願い申し上げます。

広報委員会 委員長 大平晃嗣
広報委員会 副委員長 川合敏博・奥村浩年